



# CISJ NEWS

A Publication of the Clinical Implant Society of Japan

January 2019

## ご挨拶



一般社団法人  
日本インプラント臨床研究会

会 長  
田 中 讓 治

### 新年のご挨拶

新春を迎え、会員の皆様には健やかに新年をお迎えのことと存じます。日頃からの会へのご理解とご協力を承り、無事に会務が遂行されていることに心より感謝とお礼を申し上げます。

昨年は公益社団法人 日本口腔インプラント学会の新理事長に宮崎 隆先生が就任され、新体制が始動しました。平成30年12月10日現在、会員数15583名(歯科医師12952名、指導医211名、専門医1195名、専修医1216名、インプラント専門歯科衛生士822名、インプラント専門歯科技工士267名)と歯学系最大の学会として会員サービスの一層の向上と社会貢献を柱に、学術講演会の開催、機関誌の発行、認定制度の3大事業をはじめ、さまざまな活動が推し進められております。標榜可能な専門医制度についても、渡邊前理事長に引き続きより具体化してきており、それに伴い認定制度も変わりつつあります。会員の方におかれましては注視しておいて頂ければと思います。私自身新理事を拝命しまして、全国に指定研修施設が69施設(大学系施設45、開業医系施設24)ありますが、その中でも1、2を争う研修施設である当会の代表として恥じぬよう CISJ 相浦名誉会長、井汲前会長の指導のもと誠心誠意努力いたしたく思っております。

さて、本年一般社団法人 日本インプラント臨床研究会は45周年を迎えます。記念大会として7月14日(日)15日(祝日)に東京ミッドタウン日比谷にて、全員発表研修会をオープンでおこないます。メジャー雑誌等でインフォメーションするにあたり、例年より早くに演題募集をおこないますので、準備の程お願い申し上げます。7月14日には記念祝賀会をザ・ペニンシュラ東京にておこないます。来賓はお呼びせずに会員のみで堅苦しくなく楽しい祝賀会にたく実行委員を中心に企画しておりますので期待して頂ければ幸いです。

次に第10回関東甲信越支部学術シンポジウムの主管に当会が指名を頂きました。関東甲信越支部シンポジウムは支部の活性化という目的で相浦名誉会長(元関東甲信越支部支部長)の発案により始まったという経緯があります。第10回という節目を任され執行部で検討した結果、関東甲信越全研修施設(27施設)より演者を出して頂き、全研修施設発表会を開催する運びとなりました。熱田 互実行委員長のもと本年8月4日に日本歯科大学で開催されますので、是非とも参加をお願いします。

そして、オリンピック年(2020年9月18~20日)には、公益社団法人 日本口腔インプラント学会第50回記念大会がパシフィコ横浜ノースで盛大に開催されます。大会長を井汲前会長、実行委員長を私が拝命しまして、既にさまざまな企画を練っております。この重要な大会の成功は、日本インプラント臨床研究会皆様方のお力なしでは成し得ません。是非ともご指導ご協力の程、心よりお願い申し上げます。本年も会員の先生方の更なる活躍と飛躍の年となりますことをお祈りいたしましてご挨拶とさせていただきます。